

地域労働市場における外国人雇用等に及ぼす影響

— 構造調整下における中小企業の雇用管理問題 —

我が国は平成2年末頃より景気の拡大テンポが減速され、平成3年後半には俗に「バブル崩壊」と呼ばれている調整過程に入った。これに伴い、好景気に人手不足対策として導入された日系人労働者にも強い影響がみられるようになった。

このように雇用をめぐる問題が流動的な時期に、群馬県の4都市の中小企業を対象に、地域技術集積のあり方、地域経済の自立化の方策、地域雇用の開発などの点をアンケート調査によって検討した。

◆研究委員会メンバー

- 〈主 査〉依 光 正 哲 一橋大学 教授
〈委 員〉高 田 一 夫 一橋大学 助教授
 林 大 樹 一橋大学 助教授
 佐 野 哲 一橋大学大学院 博士課程

◆目 次

- 第一章 地域の中企業主からみた雇用管理問題 — アンケート調査の分析 —
第二章 中小企業における時短と外国人労働者 — ケーススタディ —
第三章 日系人の雇用管理問題 — 面接調査データの分析 —
付属資料